21.9.30
佐倉市 教育センターだより Vol.19
平成21年9月30日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043(486)2400　http://www.city.sakura.lg.jp/kyoikucenter/index.htm

目の前の児童生徒のために

所長　佐久間　保男

「学習をすること」とはどのようなことを言うのでしょうか。まず，学習という意味から考えていくと，様々な考えがあると思いますが，ある辞書には次のように

1　学問・技術などをまなびならうこと。「―の手引」「―会」
2　学校で系統的・計画的にまなぶこと。「英語を―する」
3　人間も含めて動物が，生後に経験を通じて知識や環境に適応する態度・行動などを身につけていくこと。不安や嫌悪など好ましくないものの体得も含まれる。

と記載されています。教職員が「学習」とは，と問われたら，１や２の事柄に関して回答することが多いのではないでしょうか。もちろん３の事柄を絡めてという回答もあることでしょう。

では，学校教育の中で「学習をする」のは誰，と聞かれたらどのような回答をしますか。多くは，児童生徒であると回答することでしょう。私もこの考えです。教職員（広い意味でとらえれば，教職員の研修も学習の一つの位置づけになる）や保護者も含めてという回答もあるかもしれません。

次に，「学習をさせる」のは誰，と聞かれたらどのような回答をしますか。この回答も幾つかあると思います。家庭の持つ役割も重要な位置を占めますが，私は，「教職員である。」と回答します。なぜならば，「学習」そのものに関わっている時間が長いからです。そして，学校教育は意図的に行われるものだからです。「学習をさせるという言葉は，強制的である。」と受け取られる部分があるかもしれませんが，個や集団が「学習をする」という習慣を学校生活の中で育んでいくためには必要なことであると思います。ここで示した「させる」とは，児童生徒が学習をする「環境」を整えていくという意味で用いています。学校教育の中で一番の環境は，教職員であると思います。

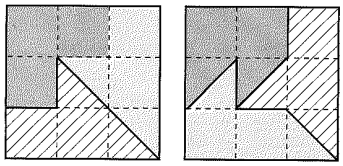
私は，学校に訪問する機会が多々あります。教室環境や学習をしている様子を一つ見ても，校庭を見ても，学校により相違はありますが，どの学校でも一番の環境である教職員が，児童生徒と向かい合い指導している姿を知っています。ここでもう一歩，踏み出してみませんか。出来ることから，一つずつ。

時間になったら，児童生徒が学習に取り組む用意ができていますか。一方的な説明の授業になっていませんか。「前の時間ここまでやったから，今日は続きをやります。」と授業に入っていませんか。チョーク１本で，児童生徒に背を向け，黒板に向かってしゃべっていませんか。（ちなみに教員時代の私）

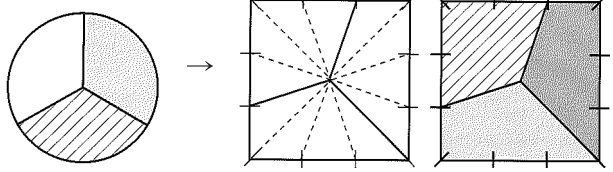
約束事を決め，児童生徒を主役に，前時のポイントを再度確認し，計画的に行えばよかったと思います。「学習をさせる」ことから，「学習をする」児童生徒を育てるために，ちょっとした努力の積み重ねをし，環境を整えていきましょう。目の前の児童生徒のために。

前回掲載問題の解答

《例１》



《例２》



・正方形を考えやすい図形(円)に置き換えて考えると，例２のようにわかりやすい。

「平成21年度佐倉市教育相談基礎講座」から

1　はじめに

教育センターでは，「教育相談の理論と技法を修得し，児童生徒の持つさまざまな問題解決に向けての指導力を育成すること」をねらいとして，平成19年度より教育相談基礎講座を実施しています。今年度は，17名の先生方が受講しています。多くの先生方に教育相談の意義を理解していただくために，研修の様子を紹介します。

2　研修の概要

	主題・内容	講　師
第1回	教育相談の意義（講話）	印旛村立印旛中学校 校長　滝本　信行　先生
第2回	ミニカウンセリングの理論と実践（演習）	佐倉市立南志津小学校 校長　杉本　　勉　先生
	不登校児童生徒の理解と対応（講話）	佐倉市教育委員会　指導課 前林典子　指導主事
	問題行動の理解と対応（講話）	佐倉市教育委員会　指導課 相蘇重晴　指導主事
第3回	構成的グループエンカウンターの理論と実践（演習）	成田市教育委員会　教育指導課 指導主事　荒金誠司　先生
	発達段階から見た児童・生徒理解（講話）	佐倉市立臼井西中学校 養護教諭　本島亜矢子　先生
	インシデントプロセスによる事例研究（基礎演習）	北総教育事務所　指導室 指導主事　青柳　伸二　先生
第4回	特別な教育的ニーズを持つ子どもの理解と支援（講話）	佐倉市教育委員会　指導課 山本　健太　指導主事

研修は，『教育相談の意義』をはじめとした講義と，『インシデントプロセスによる事例研究』などの演習により行っています。実際に教育相談で使える手法を体験することにより，はじめは緊張気味だった先生方も，表情が和らぎ，にこやかな笑顔も見られるようになりました。

なお，本講座の全内容を受講した方には，修了証書をお渡しします。また，千葉県教育委員会が実施する『教育相談上級講座』の受講資格を得ることができます。

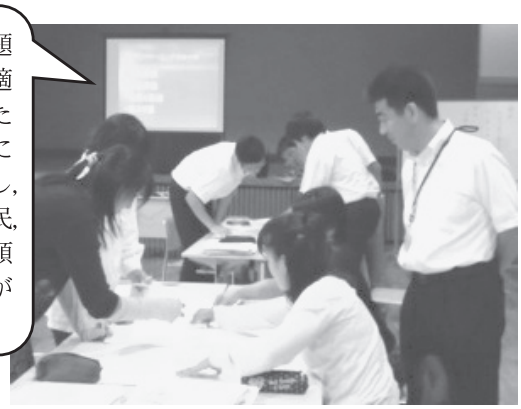
カウンセリングにおける関わりとして
・理解者になる（分かる）
・味方になる
（活かす・育てる）
・人間として関わる
（共に生きる）
ことがポイントです。
『心で聴いて，心で応える』ことが大切です。

話をする時に，相手が無視をしたり否定的な態度を取ったりすると，とてもつらい気持ちになり，話も途切れてしまいます。逆に，相槌を打ったり，にこやかな笑顔で接したりしてくれると，思わず身ぶり手ぶりを交えてしまうほど，話が弾みます。

教育相談では，相手の話を聴く態度が，とても重要です。

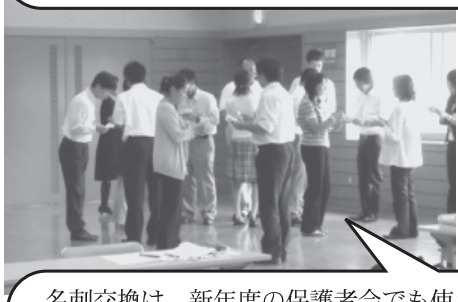
すれ違う時に，相手に会釈をしたり挨拶をしたりすることでコミュニケーションが生まれ，自然に会話も始まります。

学級に休みがちな児童生徒がいる場合，休んでいるときの様子を把握し，態様別に対応を考えることが重要です。一人ひとりの子どものよさを見つけ，認めることで，相手の気持ちに寄り添うことができます。



児童生徒の問題行動を理解し，適切な対応をするためには，多面的に児童生徒を理解し，保護者や地域住民，関係機関との信頼関係を築くことが大切です。

発達の視点から児童生徒の発達上の課題を把握し，教育相談を行うことも大切です。



名刺交換は，新年度の保護者会でも使うことができます。名刺の色を前年度のクラス毎に分けておき，名刺交換で全ての色を集めるよう指示することで，前年度違うクラスだった保護者とも打ち解けるきっかけを作ることができます。

不調を訴えて度々保健室に来室する児童生徒は，何らかの悩みを抱えていることが多いです。虐待の事実を発見することもあります。養護教諭との連携は重要です。

インシデントプロセスによる事例研究では，提案者が資料を配付しないで概要を説明した後，参加者が質問し，理解のための情報を得ます。事前に詳しい資料を作成する必要がないので，提案者の負担も少なくて済みます。

参加者は，提案者に質問して得た情報をもとに，主訴・原因についてグループ討議をし，グループ毎に発表します。その後，対応策・指導方法についても同様に討議及び発表をします。提案者の対応を否定するのではなく，役立つと思える意見を述べるようにします。最後に提案者から感想を聞きます。

3　まとめ

いじめや不登校，問題行動，発達に関する問題など，子どもたちが抱える問題は，深刻かつ多岐にわたっています。今後，教育相談は，ますます重要になってくるものと思われます。問題の早期解決を図るためには，担任の先生が一人で抱え込まずに，学校全体でさまざまな立場の先生方が組織的に対応することが必要です。そのために，より多くの先生方が教育相談の手法を修得し，実践を積んでいただきたいです。今後も多くの先生方が研修を受講し，子どもたちのために生かしてくださることを期待しております。

（西村　隆徳）

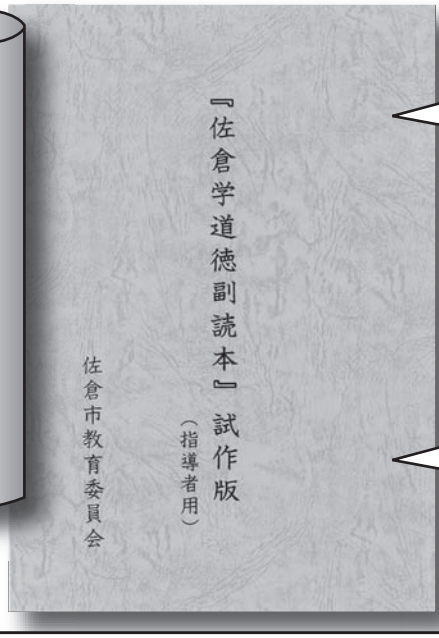
～『佐倉を学ぶ』～

佐倉学を通して，豊かな感性と人としての品格を育て，
郷土に対する理解と誇りを持ち，実践できる人に…

佐倉市において「佐倉学」を提唱し，学校教育の中で実践が行われるようになって７年近く経ちました。当時中学生であった方々がすでに成人となり，好学進取の気風を持ち，多くの分野で活躍されていることでしょう。佐倉市では，今後も「佐倉学」を充実させ，国際社会に通用する人材育成をめざしていきます。

さて，本年度学校での指導用副読本として，「佐倉学道徳副読本」と「ふるさと佐倉の歴史」の２冊を作成し配布いたしました。すでに授業実践の中で活用されているかと思いますが，改めて内容紹介をいたします。

佐倉学道徳副読本



この副読本をつくった理由は何でしょう？

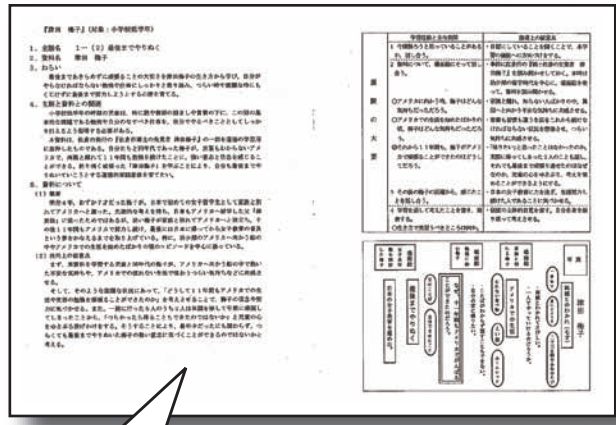
道徳での佐倉学の実践が少ない傾向にあり，さらに新学習指導要領でも道徳教育の充実，また「先人の伝記，スポーツなどを題材とし～（中略）～魅力的な教材の開発や活用を通して，～(後略)～」と先人の伝記等の教材化が明記されているからです。

先人では，誰が取り上げられているのでしょう？

小学校低学年用として「津田梅子」，小学校高学年用として「津田仙」「西村茂樹」，そして中学校用として「堀田正睦」「西村茂樹」を取り上げて教材化しています。

どのような内容なのでしょう？

会話文を加える，話に起承転結を持たせるなど工夫し，対象学年にふさわしい長さの文章に編集して先人の功績を紹介しています。



どのように活用すればよいのでしょう？

指導者用の冊子には，指導案が載っています。指導過程や板書計画を参考にして活用してください。

本年度は，「試作版」として配布しております。先生方が実践をされて気づいたこと，修正点などを教育センターまでご連絡いただければ22年度の発行に向けての参考とさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ふるさと佐倉の歴史

中央史の学習を行う際に，当時の佐倉の様子も合わせて学習できるように佐倉の歴史を通史的に扱っています。

今年度は，市内小学校の６年生児童全員に配布しました。来年度以降，毎年新６年生に配布します。市内中学校には，１校につき５０冊を配布してあります。

第1章 原始と古代の佐倉

第１節　佐倉のあけぼの

佐倉市でも4000～7000年前の遺跡が発見されています。時間的に遠く離れた時代の学習でも，佐倉の遺跡を通して学習することでより身近に感じさせることもできます。

第２節　堀田正睦と佐倉

佐倉学コラム⑥

堀田正睦と井伊直弼

江戸城桜田門

『佐倉学コラム』というページがあり，佐倉の歴史と中央史のつながりがわかります。このページは，中央史でよく名の知られている人物と佐倉ゆかりの先人とが歴史の中で関わっている事実も取り上げています。

佐倉の先覚者

津田梅子

わずか８歳でアメリカに渡り英語教育に情熱をかたむけた津田塾大学創設者

1864（元治元）年～1929（昭和４）年

香川松石

『郷土の先覚者ダイジェスト』のページでは，佐倉の先覚者の生立ちや業績をコンパクトにまとめて紹介しています。

社会科の時間に限らず，総合的な学習など佐倉学を学ぶ際の資料として活用していくことが可能です。各学校で活用いただき，効果的な活用の事例がありましたらぜひご報告いただければ幸いです。

（小川　英昭）

“さくら”学びの窓

自ら運動し，共に体力を高めるための体育学習のあり方
～教科体育と日常的な体育活動の充実をめざして～　　佐倉市立印南小学校

印南小学校では，平成16年度に低学年体育の研究を始め，平成18年度より全学年で「共に体力を高める」体育学習のあり方を研究しています。正課体育の充実にとどまらず，特別活動や業間運動においても体力を高めることに力を入れています。今年度は，業間運動の時間を中心に取り組んだいきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」において，前期（４～６月）に参加した，県内156校のうち，最も積極的にコンテストに取り組んだ学校として大賞に輝きました。

正課体育の充実

印南小体育学習の基本的な学習の流れ

学習の流れ	ねらい・留意点
○準備運動	・主運動につながるようないろいろな運動(動き)をさせながら心と体のリラックスを図る。 ・運動の基礎感覚づくりをする。
○場の準備	・役割分担を明確にし，安全に留意しながら短時間で準備させる。
○めあての確認 ・個々のめあてを持つ	・本時の学習内容を明確にする。 ・本単元で身につけさせたい力をはっきりさせ，そのためのめあてをスモールステップで明確に提示する。 ・学習カードの活用
○めあて① ・今もっている力で運動（動き）を楽しんだり磨いたりする。 ・運動（動き）を見合う。	・易しい場の中で，グループ・ペア・個人などで運動（動き）を楽しんだり磨いたりさせる。 ・よりよい動きや仲間と上手にかかわっている児童を称賛し，見合いの場での児童を決める。 ・できるようになったり上手になったりした児童の運動（動き）を見合う。 ・児童の意欲に任せるだけでなく，教師のねらっているよりよい運動（動き）を見合い，学習内容に迫り，めあて②につなげていく。
○めあて② ・できそうな，やってみたい運動（動き）に挑戦する。	・グループや個々にあった場や運動の仕方を工夫しながら取り組ませる。 ・励まし合いや教え合い，補助をし合うなどして，仲間とのかかわりあいを深めながら課題を達成していく。
○学習のまとめ ・整理運動 ・めあての振り返り	・健康観察をしながら，手短に行う。 ・個々のめあてを想起させ，挙手したり学習カードに記入したりする。 ・技能の向上した児童だけでなく，意欲的に学習に取り組んでいた児童について教師から紹介する。
・後片付け	・役割分担にそって，安全に留意しながら全児童で効率よく行う。

時間配分については、指導時間により長短を工夫する

技術の向上

かかわりあい

日常的な体育活動の充実（業間運動）

業間運動の時程

10:15～	10:18	移動
10:18		学級ごとに集合
10:18～	10:28	**活動**
10:28～	10:31	**３分間走**
10:31～	10:32	集合
10:32～	10:35	学級ごとに行進・挨拶・解散

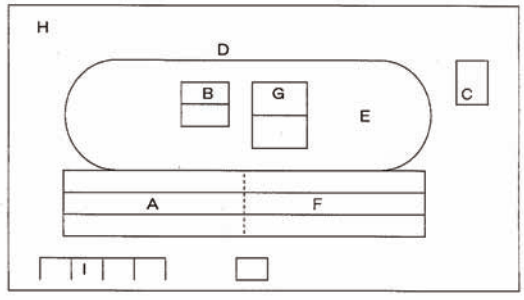
→ 教室で佐倉一周マラソンカードに記入

（５）内容

	場所	育成したい力	活動例	
A	１００m走路	走力	※みんなでリレー(全)	１の１
B	ドッジボールコート（小）	敏捷性，投力	※ボールパスラリー（中高）	１の２
C	砂場	跳躍力，走力	幅跳び（遊び）	２の１
D	走路	走力	リレー（遊び）	３の１
E	トラック内	走力，跳躍力	※長縄８の字連続跳び（全） みんなで短縄跳び(全)	４の１
F	１００m走路	瞬発力，走力	※連続馬跳び(中・高)	４の２
G	ドッジボールコート（大）	敏捷性，投力	ボールゲーム	５の１
H	バックネット	投力	ボール壁当て運動	６の１
I	鉄棒・雲梯・登り棒	筋力，器械系の感覚	各自挑戦技	６の２

・※は，「遊・友スポーツランキングちば」の種目です。
・原則として各場では上記の内容を含んだ運動を行う。
・楽しさ，運動量，満足感（汗をかく，できるなど）のある運動をめざす。

（６）場



編集後記

今回は，体育の研究に長く取り組んでいる印南小学校の研究の一端を『“さくら”学びの窓』として紹介させていただきました。11月には公開研究会も予定されています。児童の動きを通して研究の成果を感じられることと思います。

夏季休業中の研修も充実したものであったと思います。今回紙面で紹介させていただいたセンター主催の「教育相談基礎講座」の研修においても，先生方の熱い思いが伝わってきました。９月からの教育活動に生かされることを期待しております。　（小川　英昭）

再生紙利用 CONTAINS SOYOIL